



J A長野厚生連安曇総合病院

きずな

第228号

発行所: 〒399-8695
北安曇郡池田町池田3207-1
TEL(0261)62-3166代
J A長野厚生連安曇総合病院
発行責任者: 院長 中川 真一
編集: きずな編集委員会
<http://www.janis.or.jp/users/azumi-hp/>

「障害者自立支援法」が

4月から施行になります

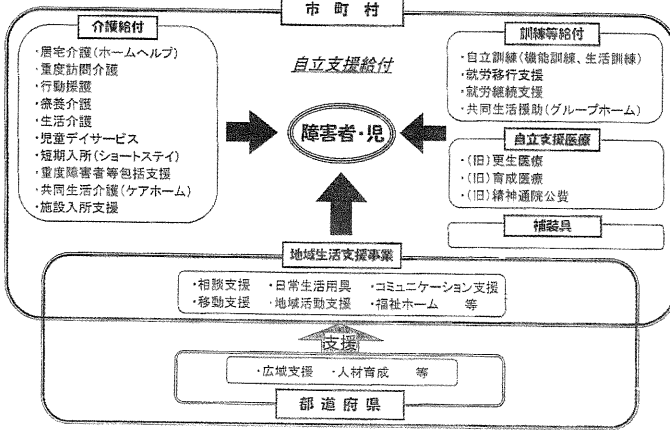
地域福祉科長 福田 光栄

「就労支援」のための事業や
重度障害者を対象としたサ
ビスが創設されます。(表1)

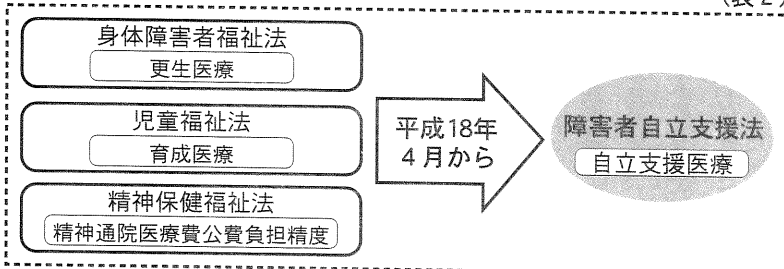
また、安定的な財源確保と
して、国の費用負担の責任を
義務化する一方、利用者の応
分の負担として、定率負担一
割の導入があります。

『総合的な自立支援システムの構築』

(表1)



(表2)



自立支援医療

自己負担は原則一割ですが、
世帯の所得に応じて負担上限
額が設定されます。

世帯の単位は、住民票上の家
族ではなく、同じ医療保険に
加入している家族が、同一世
帯とされます。疾病、症状な
どによって、さらに負担軽減
の場合もあります。入院時の
食費については、原則自己負
担になります。

特に大きく変わるのが、精
神通院医療(精神保健福祉法
32条)で、医療費の負担割合
が5%から、原則10%の負担
になり、有効期間も2年間か
ら1年間と短くなります。制
度の改正にともない申請手続
も、申請用紙のほかに指定薬
局の記載などが増え、所得を
証明する書類などが必要とな
ります。今、各市町村で必要
な書類が対象者に送られ、手
続が急ピッチですすめられて
います。

障害者福祉サービスを 受けるには

福祉サービスを希望される
方は、市町村へ申請します。
市町村の調査員による認定調

査があり、障害程度区分の一
次判定が行われます。市町村
審査会での二次判定を踏まえ
生活の実態を総合的に判断し
て、サービスの支給が決定さ
れます。介護保険の手続とよ
く似ています。利用できるサ
ビスは、表1のメニューがあ
ります。しかし、新サービス
は、平成18年10月から施行予
定で、まだ法整備が行われて
いるところです。現在、ホ
ムヘルサービスやデイサー
ビス、ショートステイなどの
居宅系のサービスを受けてい
る方や、施設を利用されてい
る方は、10月までは現行どお
りですが、新体系に移行にな
ります。サービス利用料金も
一割の自己負担が発生します。
今まで特に遅れていた精神
障害者に対するサービスが、
他の障害の方と同じサービス
が提供されることは、嬉しい
ことです。しかし、サービス
の充実よりも、医療費の自己
負担のほうに半年も先にはじ
まることは、いかがなものか
とも思うのですが、三位一体
の改革のご時世では仕方ない
のでしょうか。

個人情報保護法対策 勉強会実施

広報・情報処理 三浦 英樹
・調査課主任

全職員に対しEPSON社に講師を依頼し個人情報保護法対策についての勉強会を12月21日実施しました。

昨年4月から施行されたこの法律の中で医療分野は、個人

人情報の成立ちや利用方法から特に適正な取扱いの厳格な実施を確保する必要がある分野の一つである指摘され、積極的な取り組みが求められています。医療機関における個人情報例として、診療録、処方せん、看護記録、エックス線写真、紹介状：等多岐にわたります。非常に多くの個人情報、しかも機密、機微情報が病院内には存在しています。

個人情報を守るためには、ルールの策定、物理的・人的・技術的対策など当然すべき事は多数ありますが、日々業務の中で個人情報保護対策に対する意識を高めていく事が最も重要である事、そしてそれが情報所有者である患者さん、利用者の方々、また職員に

しても安心を提供し信頼にこたえる事につながると感じました。

「患者認識バンド」 ご協力をお願い

医療サービス 太田 泰子
推進室

当院では、患者さんの確認を氏名（フルネーム）及び生年月日で行なっています。

今回、入院された患者さんに対して、氏名・生年月日の確認に加え、今まで手術患者さんや、輸血を受ける患者さんだけに使用してきた「患者認識バンド」を使用します。入院時、看護師が確認事項を記入しますので手首に装着してください。（病状によっては足首の場合もあります）

点滴や注射、検査を行なう際にご本人である事を迅速・確実に行い、患者誤認による医療事故を防止いたします。

主旨をご理解いただき、入院から退院まで患者認識バンドの装着にご協力ください。

基本的に全入院患者さんが対象になりますが、また、小児等で装着が困難な場合、装着に同意されない場合は担当者にお伝えください。

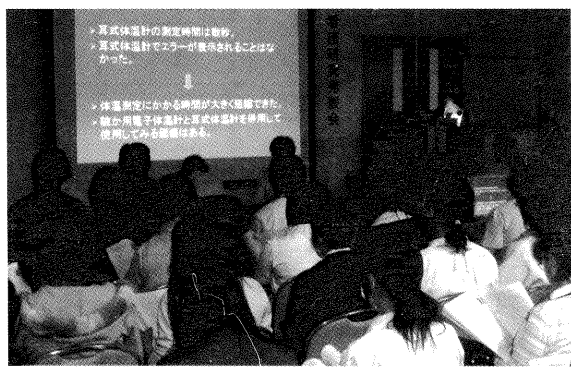
院内看護研究 とりくみについて

看護部主任 吉岡 洋子

平成17年度の院内看護研究発表会を12月16日に開催しました。今年度は、8部署から熱のこもった発表があり、活発な質疑応答、意見交換がされました。

看護研究は、看護に関連した「こと」や「もの」で、日ごろの業務の中で感じた、「おや?」「なぜ?」といった疑問を研究に発展させます。そこから看護を受けている人

看護に携わる人に有益な真実を導くことを目的としています。



当院では、各病棟部署単位

で、4月から研究を始め、12月の院内発表に向け約9ヶ月間取り組みます。その中から何題かはさらに研究を深め、長野県看護研究学会、農村医学学会等の発表もしています。

看護研究は、看護師一人だけでは進められません。職場

のスタッフ、時には検査技師、理学療法士の皆に協力してもらいます。そして何より一番協力していた、多くの方が多いのは患者さんです。

研究参加をお願いする時には、倫理的配慮は絶対に欠かしません。研究の目的、協力に伴う利益不利益、拒否する権利、途中辞退する自由など、十分に説明し、承諾をいただいてから始めますのでご安心ください。また研究発表の際にも個人が特定できないようプライバシーの保護は、確実に行われます。

今後もし、研究参加の依頼があり、趣旨にご賛同いただければ幸いです。ぜひご協力をお願いいたします。世界的研究に、一役買う事になるかも知れません。

ひといごと

精神科作業療法 飯尾 和美

ついこの間、電車を利用する機会がありました。

普通電車で一駅、時間にと約2分間の道のりでしたが、途中、年配の女性から声をかけられました。

「ずいぶん寒くなったねえ」「そうですね」

それだけのやり取りでしたが、ほんの少しだけ、今日は車ではなくて電車を使ってよかったなあとという気持ちになりました。

日ごろ私は自動車を主な移動手段として生活しています。人の多いところが苦手であることに加え、多分に漏れず、長野県の中では車がないと不便で生きていけないと感じているからです。

駅や街中は人が多く、くたびれてしまうこともしばしばですが、たまには単なる移動手段としての電車ではなく、こうしたのんびりしたやり取りを楽しみに出掛けののりいかなと思える出来事でした。

栄養科の紹介

栄養科長代理 山本恵美子

栄養科は現在中病棟地下一階にあります。地下なので太陽の光が届かない場所ですが、スタッフは個性豊かな、元気な人達ばかりです。

走ることが生きがいの人、山登りが大好きな人、食べ歩きで絶対味覚を養っている人など現在18名です。管理栄養士2名、栄養士3名、調理師12名、パート1名です。

仕事は入院患者さんの食事を朝食・昼食・夕食を365日、一日も休むことなく調理しています。食事の種類は多種類で、食事療養の為、味付・食事量・食材などの制限や、形態も一般の形態、キザミやトロミをつける患者さんから怪我で入院の方など一日平均約800食調理しています。

朝4時30分から、夜7時過ぎまで業務は続きます。食事の提供の他に食事の内容が病気の回復にふさわしいのか、栄養素は偏りがいいかどうかなどの栄養管理や、健康を保つ為の食事についてや、病気の

の治療に必要な食事の話やドック受診時で一定の検査値より高い受診者の食事相談など食に関わる相談、指導を行っています。

入院患者さんは乳児から100才まで年齢層も幅広いですが、また、患者さんが選択できる選択食を週3回実施して、患者さんが満足される様に心掛けています。食事の内容や味付なども千差万別ですが、患者さんが健康をとりもどされて、一日も早い退院に貢献できる様にスタッフ全員が願っています。

調理師や栄養士に「今日の食事はうまかったよ」「今日は味がよくなかった」などお声をかけてください。明日への反省や、励みになっています。



職員旅行に参加しました

施設課 倉科 ひろみ

12月上旬に神戸ルミナリエに行ってきました。4月に就職したばかりの私にとって顔と名前は知っているもののお話するのが初めて、というメンバーの中で皆さんと楽しく交流することができました。

テンガロンハットをかぶってバスの中で楽しそうにお酒に酔っている人や普段しつかりしていそうな人が神戸の街中で迷子になったりなど、仕事では拝見できない姿にお互いバカにしあったり、楽しい時間をすごしてきました。

田舎モノの私にとつて特に印象的だったのは、あるおみやげ屋さんでの接客の良さです。「またいつかここに遊びに来てね」という気持ちが強くと伝わってきました。今でも思い出すくらいだから、まさに「感謝とは心の記憶」ですね。

医療機関に携わる私たちとジャンルは違うものの目指すものは同じなんだな、と感じました。あの時のおじさんのように影でこっそりとほめていただけたような接遇を目指したいですね。

トピックス・アズミ

ように影でこっそりとほめていただけたような接遇を目指したいですね。

▼院内看護研究発表会を12月16日に行いました。

▼個人情報保護法対策学習会が12月21日に行われました。

▼白馬診療所の雪下ろしが12月21日に行われました。

▼第4回栄養勉強会が1月13日に行われました。

▼JA中信地区協議会全体会議が1月16日にホテルモントーニユ松本で行われ、中川院長堂原事務長が出席しました。

ボランティアコーナー

大雪から一転、暖かい日が続く今日この頃ですが、寒暖の差で体調を崩されている方も多いのではないのでしょうか？

さて、ボランティア運営委員会では現在、車いすに取り付ける布袋をボランティアの

こぶし会の皆さんにご協力いただき、作成する予定です。この布袋は、院内を車いすで移動する方に、カルテやレントゲン写真を入れて移動していたくためのものです。随時、取り付けていきますのでご利用いただけたらと思います。

また、1月17日に高瀬中学校1年生の有志の方々に車いすを磨いていただきました。ボランティアの皆様、いつも本当にありがとうございます。これからも宜しくお願いいたします。

編集後記

毎日寒さの厳しい日が続いています。今年は異例の大雪に見舞われ、ニュースでも雪の事故が大きく取り上げられています。自然の驚異を改めて思い知らされた気がします。でも少しでも雪を好きになろうとスノーボードを始めたのですが・・・なかなか重い腰が上がりません。やはり春が待ち遠しい今日この頃です。

安曇総合病院理念

私たちは、皆さまに満足いただける親切・安全な保健・医療・福祉サービスを提供につとめます。

私たちは、事業活動を通じてJAGグループや地域の関係機関と連携し豊かな地域づくりに参画します。

私たちは、皆さまとともに病気の予防と早期発見につとめ地域の健康増進に貢献します。

私たちは、安定した運営基盤のもとに医療内容の充実と療養環境の改善につとめ、皆さまに信頼される病院づくりをめざします。

— 基本方針 —

皆さまが満足できる適切で安全な医療の提供につとめる。

皆さまの権利とプライバシーを尊重する。

皆さまへ十分な説明をし、理解と同意をいただくことを全ての医療活動の前提とする。

近隣医療・福祉施設と連携し、地域医療・福祉の充実につとめる。

地域のニーズに即応できる救急医療体制の整備充実につとめる。

在宅医療支援活動の増進につとめる。

保健予防活動に積極的に取り組み、地域の皆さまの健康増進に貢献する。

病院職員の健康・福祉の増進につとめる。

適切で明確な病院運営方針を策定し、その実現につとめる。

厚生連の諸活動やその他の文化・研究活動に積極的に参加する。

《 診 療 案 内 》

平成18年2月

		月	火	水	木	金	土
内科	内科(一般)初診	林 田 山 口	川 上	井 能 山 口	東 方 山 口	早 野	川 上(第1・5週) 山 口(第3週)
	内科(一般)再診 (予約制)	川 井 井 東 津 島(第3週)	中川(9時30分～) 井 林	早 野 東 方 川 上(午後)	中川(9時30分～) 川 林 田(午後)	中川(9時30分～) 井 林 田	早 野
	循環器科	東 方	池田(信大)(午前) 鈴木(信大)(午後)	東 方	東 方	渡 辺(午前)	
	呼吸器科	井 能・山 口	井 能	井 能・山 口	山 口	井 能・山 口	信 大
	神経内科	中 川 (10時30分～)	中 川(11時～)	中 川 (10時30分～)		中 川 (10時30分～)	林 田
	血液内科	川 上(午前)	川 上(午前)	川 上(午後)	川 上(午前)	川 上(午前)	川 上(第1.5週)
	専門外来				一條(肝臓) 洞 (腎臓)		高梨(第1週・3週) (リウマチ・膠原病)
精神科	初 診	平 林 中 村	鬼 頭(午前)	竹 内	村 田	鬼 頭(午前) 荻 村 田 原	
	心療内科再診 (予約制)	村 鬼 田 頭	村 田	鬼 頭	平 林	鬼 頭 田 原	鬼 頭
	精神科再診 (予約制)	村 鬼 中	村 平 鬼 田 林 頭	竹 鬼 内 頭	平 林	平 村 荻 田 原	鬼 頭
	夜間診療(予約制)			村田・平林・鬼頭			
小児科	午前	信 大	保 刈 (原) (受付11時まで)	原 (保 刈)	保 刈 (原)	原 又は 保刈	信 大 (原又は保刈)
	午後	特殊外来(予約)	乳児検診(予約)	内分泌外来(第3週) (予約)	慢性疾患(予約)	慢性疾患(予約)	
外科	一般外来	金 谷	佐 藤	佐 藤	金 谷	金 谷	佐 藤
	呼吸器外科	花 岡(午後)			花 岡		花 岡
	形成外科 (受付15時30分まで)				川村(13時から診療)		
	乳腺内分泌外科	望 月(乳腺) (診療日:6・20日)		藤 森(乳腺) (初診受付10時まで)		信 大(甲状腺)	
整形外科 (受付10時30分まで)		最 上 向 山 (受付9時30分まで)	谷 川 松 原 橋	最 上 向 山	谷 川 向 松 原	谷 川 畑 最 上	谷川・最上・向山・松原 (輪番で担当)
皮膚科		芦 田(信大)		河 内(信大)		太田(由)(診療日:10・24日)	太 田(由)
泌尿器科				石 塚(信大)			
産婦人科		信 大	曾 根 原	信 大		信 大	
眼 科		太 田(い)	太 田(い)	検 査・手 術 (外来休診)	太 田(い) (午後コンタクトレンズ要予約)	太 田(い) (受付10時まで)	信 大
耳鼻咽喉科			信 大 (14時から診療)			信 大 (14時から診療)	信 大 (受付11時まで)
放射線科		高 山(曾根)	曾 根	高 山(曾根)	高 山(曾根)	高 山(曾根)	高 山(曾根)
麻酔科 (受付11時まで)		松 本	松 本	松 本	松 本	松 本	松 本
リハビリテーション科		緒 方	緒 方	緒 方	緒 方	緒 方	緒 方
歯科口腔外科		中 篤	中 篤 信 大(午後)	中 篤 信 大(午後)	中 篤	中 篤	中 篤

☆第2・4土曜日(2月11日・25日)は休診です。